# デジタル化で市役所の業務改善を！

12月議会 質問

## ■デジタル化とは？

デジタル化とは、従来のアナログ形式の情報をデジタル形式に変換する事。現在、国が行政業務のデジタル化を推進しています。具体的には、①添付書類の撤廃、②オンライン化の徹底、③複数手続きのワンストップ化の3本柱（昨年1月に国が発表した「デジタル・ガバメント推進計画」より）。今年1月から始まる通常国会では「デジタルファースト法案」が提出される見込みです。

## ■「市民サービス向上」「行政の業務効率化」というメリット！

市役所業務にデジタルを導入すると、次のようなメリットが期待できます。

①市民サービスの向上：出生・死亡・転入転出・介護・・・種々の手続きで市役所にこられた時、時間がかかったり煩雑だったりしたご経験がおありではないでしょうか。デジタル化すると、何枚も書類を手書きしなくてよくなったり、1つの窓口で手続きが済んだりするようになります。

②業務の効率化：市役所職員が時間をかけて手入力していた作業などが一瞬で出来るようになります。それにより生じた余剰時間は、相談業務や企画立案など、機械ではなく人間だからこその業務に充てる事ができます。

## ■できるところからスモールスタートで！

伊丹市役所で具体的にどう進めるのか。まずは現状分析して出来るところから導入をと考えます。専門業者にヒアリングしたところ、まずはナビゲーションシステムを検討してはどうかとのこと。ナビゲーションシステムとは、申請内容を入力すれば必要な手続きをシステムがナビゲート（自動判断）する機能。職員のノウハウやスキルに関わらず、市民の方々に迅速で確実な案内をすることが可能です。質問したところ、当システムを含め、できることから小さく始めたいとのこと。

## ■新庁舎建設をデジタル化のチャンスに！

伊丹市は市庁舎の建て替えを計画しています。これをデジタル化の大きなチャンスにしたい。聞くと、若手職員を中心とした総合窓口検討ワーキングチームが発足しているとのこと。大いに期待したいところです。

市役所業務にデジタルを導入すると、「市民サービスの向上」「業務の効率化」が飛躍的に進みます。具体的な話を聞くと「こんなことも可能なんだ」とワクワクします。国も法律を作って進める方向であり、ぜひ伊丹市役所全体でデジタル化を強力に進めたいです。市民の皆さんにとって、ご利用しやすく役に立つ市役所へ！

# 男女共同参画センターに子育てスペース、大丈夫？

12月議会 質問

## ■新男女共同参画センターに、むっくむっくルーム！？

「男女共同参画センター」：新しいセンターを産業・情報センター（商エプラザ）5階に整備する計画

「むっくむっくルーム」：乳幼児と保護者が遊んだり喋ったりできる子育て支援スペースで、市内8ヶ所で実施中

このたび、市立伊丹幼稚園内で実施していた「むっくむっくルーム」を、新しい男女共同参画センターの一角に移転する計画が浮上しています。私は新しい男女共同参画センターには大いに期待をしており、一方で「むっくむっくルーム」も拡充を訴えてきた思い入れの強い施設。双方の機能低下にならないかを問いました。

## ■相乗効果に期待！

市立伊丹幼稚園内「むっくむっくルーム」の移転先の検討について問うと、様々に探したが常設となると困難だったとのこと。新男女共同参画センターについて目的遂行のために必要なスペースを問うと、確保できる計画であるとのこと。現在の移転案が男女共同参画や子育て支援の停滞につながらないか問うと、むしろ相乗効果を期待しているとのことでした。

新男女共同参画センターには大いに期待をしており、「むっくむっくルーム」は思い入れの強いスペース。大切な両取り組みが、併設により機能低下することは避けたい。コラボレーションすることで、双方の目的をより高められる相乗効果を出していければと願っています。男女共同参画も子育て支援も、しっかり進めていきたいです。